

丹後国営開発農地で多発している 加工用大カブの生理障害抑制技術の確立 (農林センター)

丹後国営開発農地で栽培されている加工用大カブ「京千舞」の生理障害発生を抑制する栽培管理法を開発しました。
また、生理障害の少ない品種として「CR味太鼓」が有望でした。

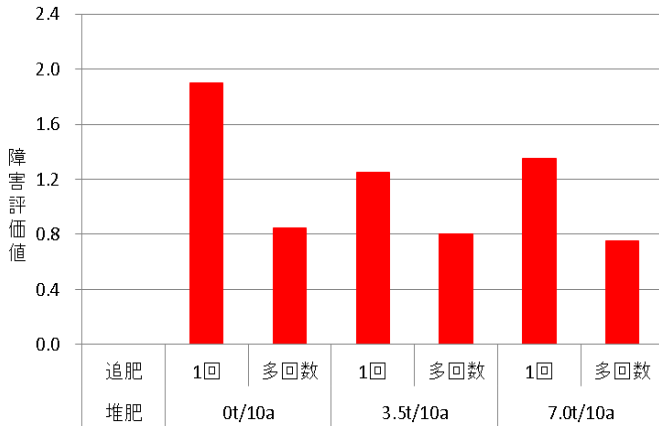


図1 堆肥を3.5t/10a以上施用することで障害が減少し、こまめな追肥(分割多回数肥)を行うとさらに減少します。(供試品種:京千舞)



図2 障害発生のカブ断面(同心円の濃淡やツブツブが確認できます。)



図3 堆肥施用、分割多回数追肥区のカブ断面(均一で綺麗な肉質が確認できます。)

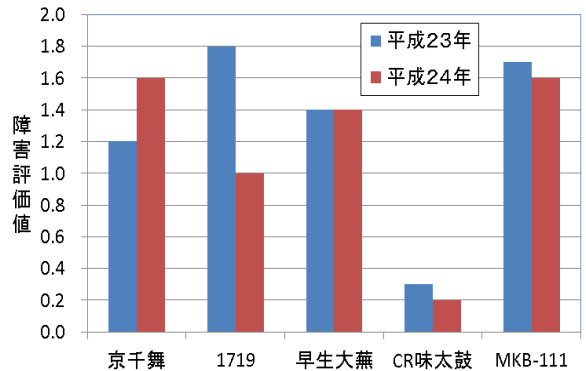


図4 「京千舞」を含む供試した5品種では「CR味太鼓」が最も障害発生が少なくなりました。(無堆肥、追肥1回での栽培)

- 加工用大カブ「京千舞」では、堆肥施用と分割多回数(5回)追肥により障害が低減(図1、2、3)
- 品種比較では「CR味太鼓」の障害が最少(図4)

- 堆肥施用による土作り及び肥切れを起こさないようにこまめに追肥を行うと、障害の発生が軽減されます。
- 堆肥施用が困難なところでは「CR味太鼓」が有望です。